

(1) 本文の中には、「無目的」「無気力」「無意識」という熟語が使われています。「のよう」「無」「+」「〇〇」という組み合わせでできた熟語を、本文中に書かれている言葉以外で一つ書きましょう。また、その熟語を使って、文を一つ作りましょう。

熟語 **無意味**

一生けんめいがんばって努力してきたことは、結果がどうであれ無意味ではない。

(2) 筆者は「目標や到達点があらかじめ決まっている場では、なかなか『いいおしゃべり』はできないのです」と述べています。それでは「いいおしゃべり」ができるのはどのような場ですか。「〇場」で終わるように三十文字以内で書きましょう。(、や、や、や)「」なども一字に数えます。

ムダ話で終わっても許される、リラックスして何でも話せる場。

30字

(3) あなたが「おしゃべり」をするとしたら、どのような人になりたいと思いますか。筆者の考えをふまえて具体的に一つ書きましょう。また、その理由を三十五文字以内で書きましょう。(、や、や、や)「」なども一字に数えます。

人物 **祖父**
世代がらがり人と話すと、視野が広がり、良
いアイデアが生まれやすいから。

35字

(4) この文章では、それぞれの成長につながるような話し合いをするためには、どのようなことが重要だと説明していますか。八十文字以内で書きましょう。(、や、や、や)「」なども一字に数えます。

上下関係を生む原因となる「話し手」と「聞き手」の役割分担の構図をつくらず、それぞ
れが持つ役割の感覚を示し合ったり、自分の
持ち味を發揮し合ったりすること。

80字

課題2 あなたは「今後、人工知能(AI)の研究開発が進むにつれて、人間が行う職業の多くをロボットがやっ

てくれる時代がくるだろう。」ということを学習しました。「教育」または「医療」の分野で、人工知能がどのよ
うに活用されると考えますか。またその活用に伴う問題点とその理由を二百文字以内で書きましょう。

人工知能のおかげで、医師は患者一人ひとりの病状をより適切に判断して薬を与えたり、より正確な手術をしたりすることにより医師自身
の判断力や技術が衰えてしまったり人工知能の質問点
が向上するに思ったり人工知能が単独で判断
を下したり手術を行ったりする場面が多くな
り、医師が直接患者を診断したりする場面は減
り、医師が直接患者を診断したりする場面は減
る機会が失われ、診断の考えから手術を行

200字

100字

(3枚め)

受験 番号	
----------	--

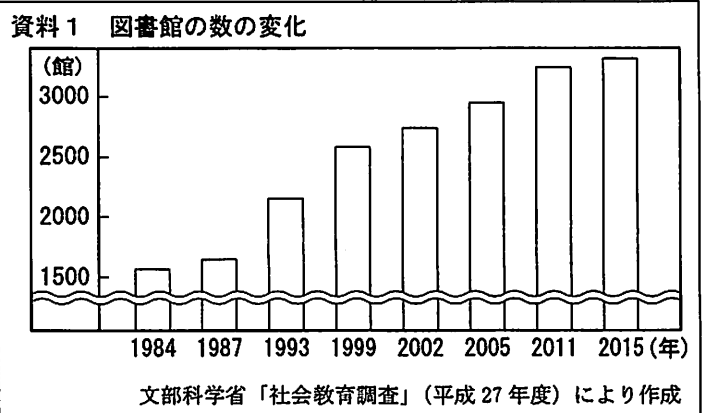
課題3 花子さんは公立図書館を訪れて感じたことを、先生と太郎さんに話しました。あとの会話文を読んで、(1)～(3)に答えましょう。

花子：図書館には本当にたくさん本がありました。どの本を借りるか、迷ってしまっかなか決められませんでした。

太郎：日本には、どの位の数の図書館があるのですか。

先生：では資料1を見てみましょう。日本の図書館の数は毎年少しずつ増えていることがわかるよね。

花子：1984年のころに比べて、2015年の図書館の数は になっています。



(1) 花子さんの会話文の にあてはまる言葉を書きましょう。

A	2倍以上
---	------

※

先生：次に1カ月に本を1冊も読まない人をまとめた資料2と本を読まない理由をまとめた資料3を見てみましょう。まず、資料2の調査が行われた3つの時期を比べると、どのようなことが読み取れますか。

太郎：どの年代についても、本を読まない人の割合が増えていると思います。2002年と2013年の各年代の比較をしてみると の人は本を読まない人の割合が最も増えています。

先生：では、資料3から読書量が減っている理由を見てみましょう。

花子：いろいろな理由があるようですね。読書量が減っている一番の理由は、2008年も2013年も「 」であることに驚きました。多くの人が読書をしたいのにできない現状があるのですね。

(2) 会話文の に入る年代を書きましょう。また、 に入る内容をくわしく書きましょう。

資料2 1カ月に本を1冊も読まない人の割合 (%)

	2002年	2008年	2013年
10代後半	34.8	47.2	42.7
20代	31.3	39.0	40.5
30代	29.6	42.4	45.5
40代	28.5	38.9	40.7
50代	39.0	38.8	44.3
60代	44.4	50.0	47.8
70代以上	51.3	59.6	60.7

文化庁「国語に関する世論調査」(平成25年度)により作成

資料3 読書量が減っている理由 (%) ※

	2008年	2013年
<input type="text" value="C"/>	51.2	51.3
視力などの健康上の理由	36.7	34.4
情報機器で時間がとられる	14.8	26.3
テレビの方が魅力的である	25.0	21.8
魅力的な本が減っている	7.8	8.5
読書の必要性を感じない	6.6	6.6

※ 調査では複数の回答を認めたので、100%にならない。
文化庁「国語に関する世論調査」(平成25年度)により作成

B	30代
---	-----

C	仕事や勉強が忙しくて読む時間がない
---	-------------------

※

(4枚め)

受験 番号	
----------	--

3※

先生：そうですね。それでは、ある小学生がまとめた資料4を読んでみましょう。

花子：本屋さんがなくなると本当に困りますね。

太郎：本を読むことは良いことなのに、そういった機会が失われてしまうかもしれません。

- (3) 資料4の

D

 にあてはまる内容を考えて書きましょう。また、読書の機会が失われないように図書館が
できそうなことを、そう考えた理由もふくめて書きましょう。

資料4 ある小学生が本について調べたこと

<p>以前から続いていた本屋さんが次々と閉店しています。商店街から本屋さんがなくなってしまったところもあります。その理由としてあげられるのが、<table border="1"><tr><td>D</td></tr></table> による販売が普及したこと、コンビニで雑誌などを販売するようになったこと、1冊の本の値段が高いために本が売れなくなったことなどです。代わりに郊外に大型の本屋さんができたのですが、雑誌などを中心に販売しているところがほとんどです。</p>	D
D	

D	インターネット
図書館が できそうな ことと理由	駅やショッピングモールなどに図書館を併設する。多くの人が集まる 場所に図書館を設ければ、図書館を利用する人も増えると思うから。

※
